

令和4年度全国農業大学校等意見発表要旨

農業大学校名 熊本県立農業大学校 学科名 野菜学科 学年 1年 氏名 こうろぎ ひろと  
興梧 優斗

1 課 題

夢をかなえるために

2 意見・提言

(1) 農大に入学した目的

我が家は、ミニトマト、ホウレンソウ、そして米を栽培している。中でもミニトマトは規模が大きく、経営の柱だ。私は将来、実家の農業の跡を継ぎたい。

現在、日本の農業は年々従事者が減ってきており、私の住んでいる山都町も高齢者が多く、農業をやめた方が多い。そのため、耕作放棄地が増加し、鳥獣害も多くなった。そこで私は卒業後、使われなくなった畑やハウスを借り上げ、規模拡大するとともに、ほ場周りなどの管理を徹底して鳥獣害の削減に努めていきたい。そこで必要な知識と経験を積むため農大に入学した。

(2) 農大で取り組んでいる事

私は今、プロジェクト学習において実家で栽培しているミニトマトと同じ品種を栽培し、他品種と収量・酸味・糖度を比較したり、マルチ資材の違いで、生育や品質にどのような差があるのかを調べている。

私は小さい頃から家の手伝いをしていたため、ミニトマトの事は十分わかっており簡単に栽培できると思っていた。しかし、農大に入学して、初めて一人で定植から収穫を行い、どんな農薬を散布しないといけないのかも分からず、思い通りにいかない厳しさ、自分の無知さに気づくことができた。今、農大で栽培しているミニトマトは先生に頼りきっている。このままでは自分自身成長することができない。だから、次の春作は、自分で考えて栽培をしていきたいと思う。

(3) 夢を叶えるための決意

私の夢は、熊本県で1番のミニトマト農家になることだ。そのために、将来は規模を拡大して人を雇用し、安定した収入が得られ、週休制をとれる儲かる、ゆとりのある経営を目指す。夢に向かってあと約一年間、学べる技術、知識を全て吸収して持ち帰りたい。

私は農業が大好きだ。そんな農業を大好きな家族と一緒にできることがとても楽しみだ。早く一人前になれるよう、農大での講義、実習を頑張りたい。農大での仲間とともに、山都から熊本、熊本から全国へ農業を魅力のある産業に発展させたい。